

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省

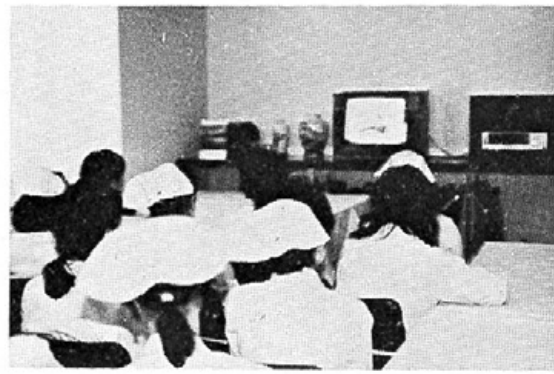
- 一 至誠に悔るなりしか
- 一 言行に恥づるなりしか
- 一 氣力に衰ふるなりしか
- 一 努力に憾みなりしか
- 一 不精に怠るなりしか

明るく、真心のこもった対応を

笑顔であいさつ、明るい職場。信頼と奉仕がモットーの西能病院は今年の重点目標に接遇改善をとりあげた。接遇の現状を厳しく見直し、明るく真心のこもった対応ができるよう、病院のイメージアップをはかるというもの。全職員がニコニコパジャスをつけ、にこやかにふれ合っている。

西能病院

接遇改善でイメージアップ



第1回ビデオ接遇訓練

「患者が病院を選ぶ時代」ということで、接遇の第一歩「患者の五原則を説く45分間ビデオ」を全職員が6班に分れて学んだ。熱心にメモをとる風景もみられた。

接遇改善推進委員会は一月十六日に発足し今年いっぱい。委員長は中島事務部長、委員は七人(部長五人、次長二人)で、毎月一回委員会を開催。まず、接遇の必要性や要領をまとめた「よい接遇のしおり」を全職員に配布、各部署の改善目標を選定した。

九部署から三十二項目の目標が出た。やはり接遇の五原則といわれる挨拶(心を開く)笑顔(温かい思いやりで相手の心をやわらげる)身だしな

み(清潔、上品、ひかえ目なおしゃれ)言葉づかい(丁寧な、誠意と親しみをこめるとの態度)はつらつ、誠意で信頼感を与える)などが目立った。その他のスケージュールはつぎのとおり。

- ▽外部講師による接遇実地指導(一月に四回)
- ▽スライド研修の実施(二月、四月)
- ▽ビデオ接遇訓練(二、四、八、十月の四回)
- ▽自己診断(一、三、六、九、十二月の五回)
- ▽患者(外来、入院)

へのアンケート実施(二、五、九、十二月の四回)「職員への対応は」「あいさつは」など十項目に、(イ)良い(ロ)問題ない(ハ)改善のべき点ありの該当欄に〇印を記入。

▽外来、入院患者および一般からモニターを委嘱、報告(二、五、九、十二月の四回)

「心」を大切に
中島委員長の話
サービスには物的(技術、機械)と心的(二つ)があります。とくに人に接するに全身対応、即ち心がなるとダメです。今一度初心に返り、お客さまに明るく心のこもった対応ができるよう総力をあげております。

笑顔が半分以上

募集

委員会の設置と同時に「接遇標語」を職員から募集、百二十点から次の優秀賞三点(四人)を選び、二月九日に発表された。とくに「笑顔」が五十七・五%もあった。

「優秀賞」身につけよう、やさしい笑顔、思いやり(広長百合子) 対(中島睦)

「佳作」明るく楽しい西能病院(八島省吾) 白衣の天使も笑顔から(塘添誠次) あいさつは、心と心の橋渡し(杉谷清美) 笑顔で挨拶、明るい対応(中島睦)

開院二十三周年にあたり

西能 正一郎

三月二十一日は、私共の病院の開院記念の日です。星井町で、西能整形外科医院を開業してからもう満二十三年も経ちました。その間、医師として、又院長として、色々なことを経験しましたが、月日は刻々と流れて、いつの間にか、老医の仲間入りも近い齢になりました。人間の記憶というものは、勝手なもので、都合の悪いことは忘れるのが早く、良かったことはか頭に残っていませんが、今回は開業前夜の記憶をたどってみます。

経験を駆使して医学の発展に

患者さんからいただいた無言の教訓

私が開業しようという気持が固まったときに、まず、何よりも先に、両親の居る福野の実家へ報告に行きました。医療の社会の事は何も知らない人達の事ですから、開業したい旨を説明しますと、母は心なしか不安そうな面持ちでしたが、健在だった祖父も父も、「それは良かった、それは良かった」と鬼の首でも取ったような喜びよう、早速神棚に御神酒を供えて、酒盛りが始まろうと

三月二十一日は、私共の病院の開院記念の日です。星井町で、西能整形外科医院を開業してからもう満二十三年も経ちました。その間、医師として、又院長として、色々なことを経験しましたが、月日は刻々と流れて、いつの間にか、老医の仲間入りも近い齢になりました。人間の記憶というものは、勝手なもので、都合の悪いことは忘れるのが早く、良かったことはか頭に残っていませんが、今回は開業前夜の記憶をたどってみます。

「医学」というのは経験の科学だから、今まで大学や、いろいろな病院に勤務して月給を貰いながら、来て下さる患者さんの身体を通して、どれだけの経験を積ませて貰ったか、新しい技術を学ばせて貰ったか計算し知れません。然し、今度自分で開業するとすると、直接患者さんからお金をいただくことになり、お金も貰い勉強もさせてもらうというそんな虫の良いことが許されるはずはありません。これからは患者さんから学ばせてもらう姿勢は許されなくて、治療してさしあげることに残されていなくて、と、私の技術がこれで完成したといえるのかと反省して、恐ろしいような、淋しいような気もするので、私には、当時三十三才の若造でありました。二十三年も経って、当時の自分を振り返ってみると、まだまだ未熟で、教わらねばならないことばかりの頼りない駆け出し医者には、その後、そのときの私の言葉とはうらはらに今日の日まで、患者さんに

あすなろ

鹿兒島の渡りのツルの生息で面白いことを聞いた。厳寒期を避けて飛来してくるのは十月中旬で平均気温が十九度のころ。ところが北をめぐりて帰って行くのは三月上旬で十度前後だそうだが、ずいぶん気温に差があるがこれを人間に比べてみると共通点があつて面白い。厳冬の二、三月を過ぎ三月になって日中の気温が十度を超えたと早くもコートを手放して「暖かくなりましたね」といさつを交わすところが昨年のように、富山の十一月中の最高気温十度以下はたった二日という暖かさのあとに、十度前後の日が続くとはいさつには「寒くなりました」ということになる。十五度ぐらいまでなら少しも暖かく感じない。これは続けているうちに気温に身体が順応して調節し、気温に「慣れ」の機能が働いているからという。突然行つたら極北の寒さに耐えられぬが、現任民が平気でいられるのもそのせいだ。ツルも同じかもしれない。慣れは正しい温度感覚を随分狂わせているともいえる。▼社会や家庭での生活の日課も同じで「慣れている」ということは緊張をやわらげる役目を果たしてはいるが「正しい」ということにはならない。「慣れ」が過ぎると富山市役所の汚職事件のような過剰に陥る。時々、人間は心も身体も生活も正しい温度計にかけ

西能病院 二十三年の歩み

- 37年3月 富山市星井町40番地に西能整形外科医院を開設(収容施設10床)
- 38年9月 救急車(プリンス)購入
- 38年10月 富山市五福1130に西能整形外科病院建設着工(木造病棟)
- 38年12月 同病院完成、開設(18室47床)
- 39年5月 救急病院に認定
- 39年10月 病院第一期増築工事に着工(鉄筋コンクリート三階建て)
- 40年4月 第一期増築工事完成、開設(27室77床) 星井町の医院を廃止
- 41年12月 救急車(ジープ)購入
- 42年3月 患者通院用のマイクロス(三菱ローザ)購入
- 42年10月 病院第二期増築工事に着工(鉄筋コンクリート四階建て)
- 43年8月 第二期工事完成、開設(34室116床)
- 47年3月 患者通院用バス(三菱中型60)購入
- 47年12月 外来及び医事部門の改装工事完成
- 49年1月 病歴室を設置、病歴を整理分類
- 49年7月 外来患者累計50万人を突破
- 50年2月 リウマチクリニック開設
- 51年2月 外来医事部門コンピュータ設置
- 51年12月 入院患者累計50万人を突破
- 53年4月 形成外科クリニック開設(北里大学市田先生)
- 53年5月 救急車(トヨタハイエース型)購入
- 54年5月 内科外来の診療開始
- 54年10月 「医療法人財団五省会」の認可
- 55年3月 新設通院バス(三菱ふそう)購入
- 55年6月 第六回日本病院学会(富山)で病院長が副学会長
- 55年11月 病院新聞「五省会ニュース」発刊
- 56年3月 「特定医療法人」認可
- 56年5月 第三期増築工事に着工
- 56年9月 第七回日本病院学会(神戸)に病院長以下二十人出席
- 57年7月 第八回日本病院学会(東京)に病院長以下十五人出席
- 58年3月 第三期増築工事を完了。病床百八十五床
- 58年4月 内科を充実、内科病棟を新設
- 58年9月 第九回日本病院学会(浜松)に病院長以下十三人が出席
- 58年10月 集団給食部門で厚生大臣賞
- 59年5月 西能院長に厚生大臣賞、日本病院会で病院事業の発展向上に努めた功績
- 59年11月 第十回日本病院学会(高知)に病院長以下九人出席
- 59年11月 第一回QCサークル大会を開催

大地を踏む

21

高岡市清水町
竹山 かおるさん(六〇)



杖を頼りに自宅付近を散歩する竹山さん

杖を頼りに自宅付近を散歩する竹山さん

かおるさんは一人暮らしである。一緒に住んでいた娘さん夫婦が昨年十一月、高岡市明園町へ引っ越していった。孫が五人いる。上から十九歳(男)十六歳(女)六歳(男)一歳(女)そして今年一月に生まれたばかりの女の赤ちゃんだ。それで、二日おきぐらいにお守りやお手伝いに出かける。

変形性股関節(左)関節症のかおるさんは杖が頼りだ。片道歩いて五十分はかかる。自分のからだは「まともでない」「いやだ、いやだ」と口ではいいながら、つい足が孫たちの

「院長、副院長はじめ皆さんから、がんばりなさい」と励ましていただいたのが大きな心の支えになりました。リハビリの飛田先生のお力添えには頭の下がる思いがしました。教えをよく守り、ころばぬよう、無理しないで杖を頼りに歩きつづけていくという。

家にいるときは、掃除をしたり、テレビを見た。天気の良いときは友達のところへ出かけて話しかつむ。好きな編物や、ししゅうは控え目にして

杖を頼りに孫の顔を

「院長、副院長はじめ皆さんから、がんばりなさい」と励ましていただいたのが大きな心の支えになりました。リハビリの飛田先生のお力添えには頭の下がる思いがしました。教えをよく守り、ころばぬよう、無理しないで杖を頼りに歩きつづけていくという。

家にいるときは、掃除をしたり、テレビを見た。天気の良いときは友達のところへ出かけて話しかつむ。好きな編物や、ししゅうは控え目にして

杖を頼りに孫の顔を

雪がとけると、民謡や旅行が待っている。

「院長、副院長はじめ皆さんから、がんばりなさい」と励ましていただいたのが大きな心の支えになりました。リハビリの飛田先生のお力添えには頭の下がる思いがしました。教えをよく守り、ころばぬよう、無理しないで杖を頼りに歩きつづけていくという。

家にいるときは、掃除をしたり、テレビを見た。天気の良いときは友達のところへ出かけて話しかつむ。好きな編物や、ししゅうは控え目にして

医療福祉制度の手びき

3

退職後の医療給付について

A氏は、市内の薬品会社の中堅幹部。勤続二十年を迎えた昨年、脳卒中の発作に見舞われて、後遺症として右半身麻痺が残った。リハビリテーションの訓練途中で休職期限も切れ退職となったが、今後も治療を続けなければならない。退職後の治療費はどうなるのか。

退職後の医療給付として、次の二制度が考えられる。

退職後の医療給付について

一、継続療養 退職するまで一年以上継続して被保険者期間のある人がその資格を失った時、保険で治療を受けていた病状・ケガについては、本人も家族も初診の日から五年間に限り、引き続き治療を受ける事ができ、保険料も支払わなくてもよい。手続は、退職日から十日以内に、社会保険事務所や健保組合で行なう。

二、任意継続被保険者 退職する日までに二ヵ月以上の被保険者期間があれば、引き続き二年間は個人で被保険者になる事ができ、在職中と同じように病状・ケガについては健康保険の給付を受ける事ができる。尚、五十五歳以後に被保険者資格を喪失した人については、六十歳になるまで、任意継続被保険者になれる特例がある。

保険料は、在職中は事業主が払っていたが、退職後はその分も個人で支払うので、在職中の二倍になる。手続は、退職日から二十日以内に、社会保険事務所や健保組合で行なう。

さて、A氏の組合は、脳卒中後遺症やその合併症の治療については、あと四年間ぐらいいは継続療養の給付を受ける事ができるが、退職後、別の病気が発生した場合を考えると何らかの保険に加入しておく方が無難である。(本来は、加入しなければならぬ)

そのため、任意継続と国民健康保険の保険料を考えると、国民健康保険は年額二十万円程であり、任意継続は、月々一万五千円程であったため、任意継続の手続を行なった。

又、A氏は、身障手帳二級の交付をすでにうけているため、重度心身障害者等医療証が交付され、一割分の負担もなくなった。

A氏は、障害者という事で上記の結果となったがそれぞれの条件にあわせて、継続療養や任意継続など有利な給付を選ぶ事が必要である。

(医療ソーシャルワーカー 高村美和子)

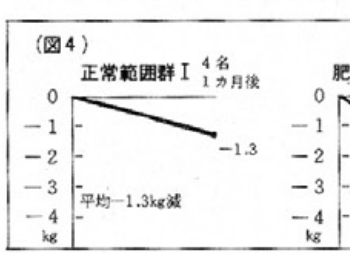
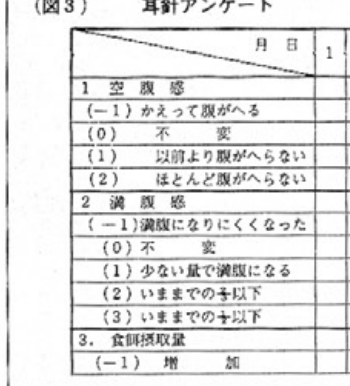
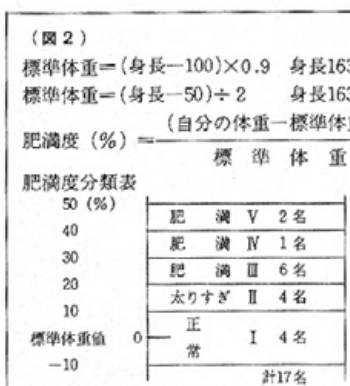
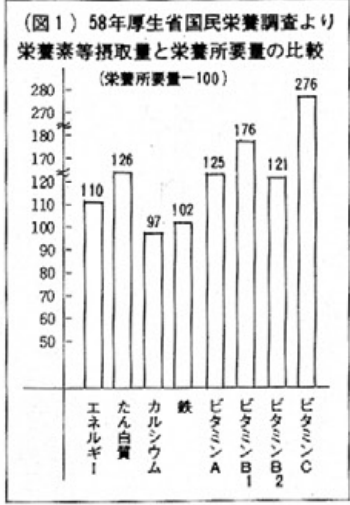
肥満の減量を証明

耳針で食事指導

その大要をお知らせします。病院に勤務する職員で協力していただいた17人の方を肥満度によって五段階に分類し(図2)耳に治療点を求めて「ハリ治療」を行ない、食事を指導しながら一月間

「ハリ治療」によって、脳の満腹中枢が刺激され、空腹感を抑えることが出

「ハリ治療」によって、脳の満腹中枢が刺激され、空腹感を抑えることが出



医療法人 西能病院の診療体制

一般受付時間(日曜・祭日は休診)

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。●救急車(2台)は、要請により出動致します。

診療科目	曜日	午前	午後
整形外科	月～土	8:30～12:00	16:00～19:00
リハビリテーション科	月～土	8:30～12:00	13:30～19:00
内科	月～土	8:30～12:00	病棟回診 火・夜診(16:00～19:00)
ハリ治療	月～土	8:30～12:00	13:30～17:00
形成外科	毎月1回	8:30～12:00	(診察日は受付でおたずねください)